

小美玉議第185号
令和8年2月24日

小美玉市長 島田 幸三 様

小美玉市議会議長 石井 旭

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、小美玉市議会の運営につきましては、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市議会では市民と議員の意見交換会を開催し、市民の皆さんから様々なご意見を頂戴いたしました。

この度、本市が直面する少子化の進行と、それに伴う地域社会の活力低下という喫緊の課題に対し、未来を担う子どもたちが健やかに成長し、子育て世帯が安心して暮らせる環境を一層整備するため、「子育て支援施策の更なる充実に関する提案書」を提出いたします。

本提案書を通じて、本市における子育て支援施策が、より一層充実したものとなるよう、本提案書の内容をご検討いただき、本市の子育て支援の更なる発展に努められますようお願い申し上げます。

敬具

「子育て支援施策の更なる充実」に関する
提案書

1. 意見交換会の概要

開催日：令和7年7月5日

参加市民数：18人

テーマ：小美玉の子育てについてどう思う？

出会い、妊娠・出産、就学前、小学校、中学校、高校生・
大学生についての子育て支援について

2. 市議会としての提案

【提案1】① 出会い・交流

(提言趣旨)

出会いの場が少ないことや、時代とともに出会いのきっかけが変化しており、「婚活イベント」というネーミングに心理的なハードルも感じる声が多く寄せられました。結婚や子育て支援の前段階として、若者が自然に交流できる環境づくりを市が後押しすることが求められます。

(具体的提言)

- ・「婚活」に限定せず、趣味や体験・インターネットを通じた交流の場を創出すること
- ・市内イベント（小美玉花火大会・市民ゴルフ大会等）と連動した出会い・交流イベントを検討すること
- ・「女性ファースト」の出会いで安心して参加できる企画・運営を重視すること
- ・民間団体や企業、自衛隊と連携した若者向け交流事業を支援すること

【提案2】 ② 妊娠・出産

(提言趣旨)

妊娠・出産期における不安や孤立感、相談先が分かりにくいといった声が多く寄せられました。市の回答では、こども家庭センターを中心とした相談体制や、妊産婦タクシー利用料助成事業、各種給付制度など、一定の支援が既に実施されていることが示されています。一方で、これらの支援が十分に市民へ届いていない現状も見受けられることから、「制度の充実」だけでなく、「分かりやすさ」「つながりやすさ」の観点での改善が求められます。

(具体的提言)

- ・妊娠期から出産後までの相談窓口や支援内容について、情報を整理し、分かりやすく周知すること
- ・こども家庭センターを軸とした伴走支援について、「何をどこまで相談できるのか」を明確化し、市民に伝えること
- ・妊産婦タクシー利用料助成事業など、既存支援制度の利用状況を検証し、必要に応じて改善を図ること
- ・妊娠・出産に関する不安や悩みを早期に拾いあげるため、専門職や地域資源と連携した相談機会の充実を図ること

【提案3】 ③ 就学前

(提言趣旨)

就学前の子育てについては、保育環境の充実が評価される一方、健診後のフォローや相談先が分かりにくいとの意見がありました。早期の気づきと支援につなげる体制づくりが重要です。

(具体的提言)

- ・乳幼児健診の強化、その後の相談・支援につなぐ仕組みを整備すること
- ・保護者が気軽に相談できる場の更なるPR、相談機会を充実させること

- ・病児・病後児保育など、多様な保育ニーズへの対応を検討すること

【提案4】④ 小学校

(提言趣旨)

小学校期では、給食無償化・ランドセルプレゼントの施策や登下校時の見守りボランティアなど評価される一方、通学路や環境面での安全や学校による環境の差、災害時の連絡体制に不安の声がありました。また、税やお金の仕組み、防犯教育、性教育、AI など教育面での要望もありました。

子どもの安全確保を最優先し、時代に合わせた教育の導入など求められていることを認識して対応すべきです。

(具体的提言)

- ・通学路及び学校生活における安全確保のための環境整備を最優先として実施すること
- ・災害時（落雷などの停電時含む）の学校と保護者の連絡体制をより理解するよう周知すること
- ・学校と保護者・放課後児童クラブ・放課後デイサービスとの状況共有・連携強化を図ること
- ・現代に合わせたニーズへの対応、次世代に向けた教育実施を推進すること

【提案5】⑤ 中学校

(提言主旨)

中学生については、学校給食における質・量の確保や、学力低下への懸念、進路・将来設計、部活動の地域展開に関する意見等が多く挙げられました。よって、以下提言をします。

【具体的提言】

- ・学力向上に向け支援体制の確立すること

- ・学校と地域、保護者との連携強化を図ること
- ・学校給食の充実化（質・量の確保）を図ること
- ・部活動地域展開の不安解消に努めること
- ・キャリアプラン教育をはじめとした、進学・就労等に関する支援体制の充実を図ること

【提案6】⑥ 高校生・大学生

（提言趣旨）

高校生・大学生世代について、学力や進路に対する不安に加え、奨学金制度を含む支援制度が十分に知られていないとの声がありました。将来を担う若者が、経済的事情に左右されることなく学びや進路を選択できるよう、情報提供と支援体制の充実を図ることが重要です。

（具体的提言）

- ・学習意欲や学力向上につながる自習室や学習スペースの環境整備を検討すること
- ・高校生・大学生を対象とした進学・進路・就労に関する相談体制を充実させること
- ・市の奨学金制度や各種支援制度について、学校や関係機関との連携、SNSを活用した周知を徹底すること

3. 結語

市民と意見交換会を通じて明らかとなった子育てに関する切実なニーズについて、市において真摯に受け止めていただきたい。本提案書の趣旨をご理解のうえ、今後の子育て支援施策の充実に向け、検討されることを求める。